

高森町_第3次環境基本計画の体系・成果指標（R4~R11）に対する振返・評価

■ 将来の環境像

ふるさとの自然を育み、自然の恵みを活かして 人の暮らしを支えるまち

■ 計画の体系・成果指標

78.6 79.3 80 80.7 81.4 82.1 82.8 83.5 84.2

○：達成、×：未達成、－：判定不能

計画の柱	計画の目標	具体的な目標（数値目標等）の指標	指標No.	R2	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R11年度目標	目標達成状況	評価		
A 2050年カーボンニュートラルの実現 (省エネルギーの取り組みを進めるとともに、太陽光発電やバイオマスなど地域の資源を活用した再生可能エネルギーの利用を拡大し、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します)	1 地球温暖化の防止	1 本町の二酸化炭素排出量の削減	A-1-1	83.2千t-CO2/年(2013年度)	69	72	71						46.4千t-CO2/年	－	2021（R3）年度実績 70千t-CO2/年（環境省自治体排出量カルテ）。傾向として、排出量は徐々に減っている。		
		2 役場庁舎等の二酸化炭素排出量の削減	A-1-2	3.6千t-CO2/年	1.7	-	-							2.2千t-CO2/年	－	各施設の電気、灯油等の使用量を確認し、排出量を算出	
	2 省エネルギーの推進	1 環境にやさしい生活を継続的に取り組んでいる町民の割合（アンケート）	A-2-1	78.60%	82.0	80.0	69.3							85.0%	－	年に0.7%ずつ上昇させる。R6はアンケート方法が変わったため、純粋に比較できない。 (R3:79.3%,R4:80.0%,R5:80.7%,R6:81.4%,R7:82.1%,R8:82.8%,R9:83.5%,R10:84.2%,R11:84.9%)	
		3 再生可能エネルギーの利用拡大	1 太陽光発電システム補助累計	A-3-1	671世帯	697	708	728							1,000世帯	×	年に41件ずつ増やす。R6年度から補助制度を大幅に変更。
			2 太陽熱温水器設置累計	A-3-2	47件	55	55	58							90件	×	年に5件ずつ増やす。町が把握するのは既存住宅への設置数（太陽光発電が主流になり、利用者減少のため、R6で廃止）
			3 小水力発電施設の導入	A-3-3	0	0	0	0							3件	－	R6・7年度に調査を実施中
	4 バイオマスエネルギー利用機器(薪・ペレットストーブ、ボイラー)設置累計	A-3-4	50件	64	70	75							100件	×	年に6件ずつ増やす 町が把握するのは既存住宅への設置数		
B 自然環境の保全と生物多様性の確保 (森林や農地などの自然環境を健全な状態で保全・活用するとともに、高森値特有の生態系や景観を形成する生物多様性の確保に努めます。)	1 森林の保全・活用	1 高森町森林経営計画（主に中央道より上段域）に基づく整備済み累積面積割合	B-1-1	14.00%	17.2	18.4	26.0							23.20%	○	森林経営計画に基づき整備を継続している。	
		2 段丘林整備面積の累計割合	B-1-2	3.00%	4.6	5.5	5.6								13.50%	×	森林づくり推進支援金や譲与税による段丘林の竹林伐採等整備を継続して実施する。（年1ha程度を予定）
	2 まちの緑と農地の保全・活用	1 有害鳥獣による被害額の抑制	B-2-1	358万円	350	258	250								294万円	○	猟友会、有害対策班の活動及び各区による被害防止策の維持管理により被害は横ばい。段丘林で活動する猿による被害の拡大が心配されている。
		2 農業荒廃地の面積	B-2-2	30.1ha	32.2	31.0	36.3								25.0ha	×	R3年度より、遊休荒廃農地の基準が広がった（予防的措置を図るための把握→対応）事などを理由に、面積が増加傾向にある。
	3 生物多様性の確保	1 自然環境調査の実施	B-3-1	実施	無	無	無								実施有無	×	R7年度から魚の継続調査を実施予定
		2 町主催の自然観察会の実施	B-3-2	年2回	2	1	2								年2回	○	7月：魚とり、8月：水生生物観察会
	4 特色ある景観の保全	1 町内に自慢できる景観スポットがあると答えた町民の割合（アンケート）	B-4-1	62.30%	59.6	58.8	-								80%	×	年に2.0%ずつ上昇させる。アンケートが無くなったため、把握できず。R3年度 62.2% (R4:66.3%,R5:68.3%,R6:70.3%,R7:72.3%,R8:74.3%,R9:76.3%,R10:78.3%,R11:80.3%)
	C 循環型社会の構築と環境負荷の軽減 (家庭及び事業所のごみの排出量を減らし、再利用・再使用したり修理したりして長く使うことで資源循環型社会の構築を目指します。また、水質・大気等の公害や健康に影響を及ぼす化学物質等がなく安心して暮らせるよう環境負荷の低減を図ります。)	1 ごみをの減量	1 1人1日あたりの焼却ごみ排出量・全国順位（少ない方）	C-1-1	441g 9位	473g 15位	452g 9位	449g 10位							399g 10位以内	○	R6はR5年度の実績。
2 生ごみ処理機器導入台数累計（生ごみ処理機・ポカシ容器・コンポスター）			C-1-2	2,921台	2,972	3,010	3,075								3,200台	○	1年に35台ずつ増やしていく。R6年度65件（生44.コ19.ポ2）。
2 資源循環の推進		1 リサイクル率	C-2-1	25.60%	23.9	22.2	21.3								40.00%	－	R6の数字はR5年度の実績。ごみの量は減り、リサイクル率は下がった。
		2 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の登録者数	C-2-2	998人	1,644	2,034	2,297								1,900人	○	令和6年3月現在。1年に113人ずつ増やす。環境保全委員会や転入時等のごみの説明時にアプリの登録をすすめる。
3 ごみの適正処理		1 不法投棄件数（県報告10kg以上）	C-3-1	年10件以内	18	1	2								年10件以内	○	毎週月・木に不法投棄パトロールを実施。県の不法投棄監視員と協力し、早期の発見撤去に努める。
4 安全・安心な生活環境の維持		2 町内河川39カ所のBOD水質判定	C-4-1	類型A型の100%達成	96%	97%	96%								類型A型の100%達成	×	町内39ヶ所の河川水の調査 年2回（10月・3月）に調査10月に1ヶ所・3月に2ヶ所、類型A型の基準を上回る
D 環境に配慮した人材の育成 (地域の自然や動植物に触れることで環境への意識を高め、環境を保全する取り組みを実践し、将来世代へ優れた地域の環境を継承することができるように、子どもの環境教育とともに大人の環境学習を進め、環境に配慮した人材を育成します。)		1 子どもの環境教育の推進	1 小中学校と連携して行う環境教育の回数	D-1-1	年5回	6	6	6							年5回	○	南北小学校で地球温暖化に関する環境学習会を実施（南小6年4クラス・北小4年）。たかもり生きものしらべ×2回、小水力発電見学会、中学校高森の時間協力
	2 『高森町の動植物』を活用した自然観察会の開催		D-1-2	年2回	2	1	2								年2回	○	7月：魚とり、8月：水生生物観察会
	2 大人の環境意識の向上 (地域の団体や公民館等の環境に関する学習会や環境保全の取組みに参加し、環境保全のための意識の向上を図ります。)	1 広報・ホームページ等への情報発信件数	D-2-1	年10回	10	50	59								年10回	○	広報たかもり「ゼロカーボンたかもり」を毎月掲載12件。ホームページ24件。新聞記事掲載23件。